

## 特集記事

## 2012年1月24日 新春トップセミナー

## 開会挨拶

## 生産技術振興協会

理事長（当時・現名誉会員） 野村 正勝

ご紹介をいただきました生産技術振興協会理事長の野村でございます。昨日夕方から東京では雨が雪に変わり、非常に厳しい寒さになりました。近畿地方の北部も雪模様であり、大阪市も冷え込んでいます。本日は当協会が毎年行っている非常に重要な行事「トップマネージャーのための新春セミナー」ですが、今回は144名の方々にご出席をいただきました。深く御礼を申し上げます。本日は大和ハウス工業株式会社の会長をなさっておられる樋口武男様にご講演をしていただくことになっております。

ここで少し当協会の宣伝をさせていただきたいと思えます。生産技術振興協会は、昭和24年に大阪府から認可を受けた社団法人であり、大阪大学の研究機関と関西の産業界が協力し、科学技術の創出を通して産業技術の向上に貢献することを目的としております。平成16年4月から国立大学は独立行政法人化し、当協会は実質上の大阪大学関連法人として活動を継続してまいりました。新春セミナーは大阪の産業界のトップマネージャーの方々にお集まりいただき、講演を通して大阪大学の先生方と親しく交流していただくことを目的にいたしております。この点もどうかよろしくお願ひいたします。

当協会は平成23年度から、新しい一般法人として新会員を受け入れるべく各種セミナーを立ち上げております。例えば昨年の「ハイテクセミナー」では、これからの社会のエネルギー問題をテーマに開催しましたが、タイミングのよいテーマであり、会場が満席になるほど会員の皆様が集まっていただき、熱心な討論をしていただきました。産官交流としては、市立工業研究所および大阪商工会議所とタイア



理事長（当時・現名誉会員） 野村 正勝氏

ップし、「チャレンジ大阪」の標語のもとに、LED産業の技術支援をテーマにセミナーを開催しました。ここでもたくさんの会員の方々が集まっていたきました。

当協会の新しい再出発をどこに求めるかに関しましては、アライアンス戦略委員会を設置し、大阪大学の名誉教授あるいは教授と、中堅・中小企業との連携を図るという目的で、「フレンドシップサロン」を立ち上げ、1回目では連携のあり方について議論をいたしました。2回目ではナノテクノロジーが目指すこれからの産業をテーマに開催し、大いに盛り上がったところであります。大阪大学の在校生に関しましては、海外論文発表奨励賞を再開し、若い研究者の海外での活躍をいささかなりとも当協会が後押しをしたいと考えております。公益法人改革の波に乗りまして、大阪の中堅・中小企業を対象に技術開発・技術移転に関して、今後も深く関わっていきたいと考えております。

最後になりましたが、当協会では会員を募集中であります。同封のパンフレットを見ていただき、これを機会にぜひとも当協会の会員になっていただければようお願いいたします。私のあいさつに代えさせていただきます。どうもありがとうございます。